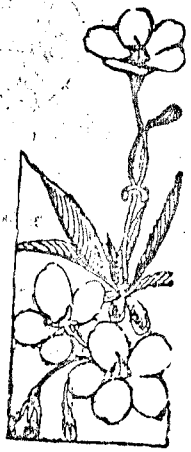


學說



東京産木蝨科の三新種

東京高等農林學校教授農博

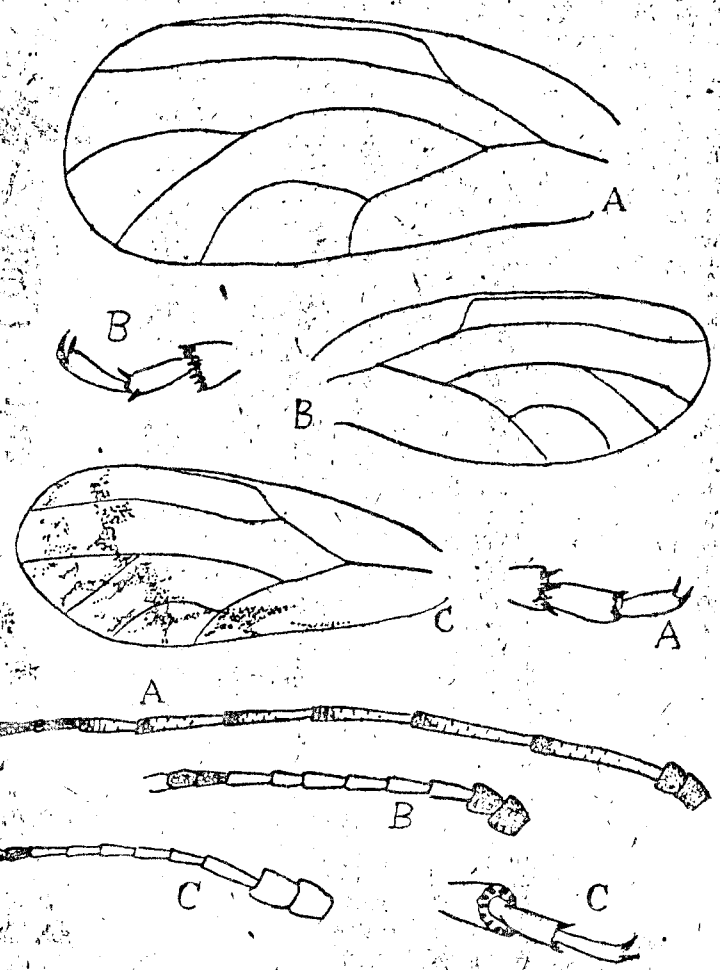
進士 織平

3 New Species of Psylla (Hem.) from Tokio

By O. SHINJI

一、ガマツミギシラミ *Psylla viburni* SHIN. n. sp.

體は美麗なる黄金色にして蒼白色の白粉と綿絮物とを装着して居る。頭部は黄色。複眼は濃赤色にして黒色に近く、單眼は赤色である。觸角は一〇節より成り、第一、第二の兩節は長幅約同大、第三―第四―第八節は約同長、第九及第十の兩節は同長にして第八節の約二分の一長。末端の二剛毛は黒色にし、翅鉤部は黒色に霞んでゐる。肢は爪と後肢の四距毛と第一附節の二距毛とが黒色。額瘤は大きくして黄色、第三觸角節と約同長である。尾端の下瓣は上瓣よりも短く、黄色である。



ミラジキミヅマガ A
ミラジキデタヘナサ B
角觸及節附経翅前のミラジキデタルハ C

體長 二・九耗内外 前翅長三・〇耗内外
宿主植物 ガンズ *Viburnum dilatatum* THUNB.

採集年月及標形地 東京市外府中町、六月二十日

二、サナヘタデキジリ *Psylla fulvicola* SHIN. n. sp.

體は黄色。頭部は少しく赤色味を帯びてゐる。觸角は短くして僅かに中肢に達し十節より成り。第九第十の兩節は黑色其他の諸節は黄色である。第一第二の兩節は約同長、第三節は第四節の約一倍半長、第九第十の兩節は他節の二倍の幅に肥大してゐる。第十節端に生ずる剛毛は第九節よりも長く、第十節は圓く終り、第十節よりも小である。胸部は黄色、腹部の各環節端は輪狀に黒い。後肢の十一距刺は黒色にして長く、爪は長い。前翅は準透明にして脈は黄色、肘脈柄は中脈柄の約四分の三長である。有翅蟲は七月十日前後に現はれる。全國的の發生をする。

標形地 東京市、杉並區荻窪

宿主植物 サナヘタデ

Polygonum lapathifolium L.

三、サクラタデキジリ *Psylla polygonifoliae* n. sp.

體は寧ろ少數の毛を生じ帶黄淡褐色である。頭部の背面は一縱走皺襞によつて二分劃せられ、額錐は顯著で黄色。口吻は前肢の基節を過ぎて伸び末端節は黑色、殘節は黄色である。觸角は十節より成り、複眼を含む頭幅よりも遙かに長く、前肢の脛跗兩節の和と約同長である。末端の二節は黒く、他節は黄色。第三節は最長。第四・第五・第六の三節と第七・第八の二節とは夫々同長、第九・第十の兩節も亦同長で共に第七節よりも短い。複眼は濃紅色。胸部は良く發達し、背面の四側縁は黒く中部には縱走せる四條の灰白色部と黄色部とが交互に配列してゐる。肢は黄色であるが後肢の脛節端の十二距毛も第一跗節の二距毛とは黑色。前翅は幅の約三倍長、肘脈柄は中脈柄の約四分の三より稍短く、翅端部に圖示せる如く、黑色の斑點が多數ある。腹部は概して黄色であるが、各環節の背板の中央には黑色の横走帶がある。尾端の上瓣は下瓣よりも長い。體長二・七耗内外

標形地 東京府淺川附近。本種はまた岩手縣盛岡市上田富士見町の空閑田畔で五六年前に採集した事がある。

螟蟲の發生と藁處分法に就いて

財團法人名和昆蟲研究所長

名 和 梅 吉

昨昭和十六年度は米の増産確保の爲め、各府縣下に於て全力を盡されたるに氣候の關係、稻熱病の發生及螟蟲、浮塵子等の發生等に依り期待されたる收量を見るに至らなかつたことは誠に遺憾であつた。特に螟蟲の發生は數年來見ざる所の發生にて各府縣下共之が爲め、受けたる損害額丈にても巨額に達して居ることは周知の處である。されば本年こそは今からして一層注意の上螟蟲防除を講じ、以て米の増産確保に専念したいものである。依て昨年の螟蟲發生の概要を記し併せて該蟲の防除上重要性を有する藁處分法に就いて其の一端を披瀝して參考に資し之が實行を期待せんとする。

從來螟蟲の大發生として記憶する年は去る大正四年であつたと思ふ。其の年は第一化期の發生が實に猛烈であつて苗代時期は勿論本田に挿秧せられたるものに於て一層大で一株として被害を見ざるものなく、甚しきは全面のものが黄枯して、自然再挿秧をせられたる地方各地に現はるゝ状態であつた。而して之が防除に就いては種々なる方法を講ぜられ、植替する程に被害なき個所に於ては被害株の切取りを實施するものあり、或は水浸法を行はるゝ個所等もあつた。然し第二化期には稍や發生が減じた様であつた。然るに昨十六年度に於ては第一化期に於ては局部的には相當の被害を見なければども、大正四年度の如き被害を見なかつた様である。處が第二化期には意外に數年來見ざる所の大發生にて遂に相當の被害を認めらるゝに一驚した譯である。

九州帝國大學農學部
昆蟲學教室圖書印

THE INSECT WORLD.

Vol. XLVI.] JANUARY 15th. 1942. [No. 1

昆蟲世界

No. 533

昭和拾七年
一月
號

THE MONTHLY MAGAZINE DEVOTED TO
THE USEFUL APPLICATION AND SCIENTIFIC STUDY OF ENTOMOLOGY, EDITED

BY

UMEKICHI NAWA

DIRECTOR OF

NAWA ENTOMOLOGICAL LABORATORY

GIFU JAPAN.



氏次松 堀：等六勳位六正 故
2557—2598

PUBLISHED BY THE NAWA ENTOMOLOGICAL LABORATORY IN GIFU, JAPAN

行發所究研蟲昆和名人法團財

AN2C1942

明治三十年九月十四日第三種郵便物認可
昭和十七年一月十五日發行
(第四拾六卷)第五百三十三號
(每月一回十五日發行)